

# 議会広報広聴委員会

令和4年8月25日(木)  
午後1時30分から  
全員協議会室

- 【出席者】三浦委員長、村武副委員長、  
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、  
上野委員、川神委員  
【共同研究受託者】光延島根県立大学特任教授  
【議長団】笹田議長  
【事務局】河上局長、小寺書記
- 

## 議題

- 1 主権者教育の推進について……………資料1
  - (1) 島根県立大学との共同研究
  - (2) その他
- 2 はまだ議会だよりVol. 67について……………資料2
  - (1) ページレイアウト
  - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
  - (3) その他
- 3 はまだ議会だよりminiについて……………資料3
  - (1) 第16号掲載内容及び原稿担当
  - (2) その他
- 4 議会報告会について……………資料4
  - (1) 集約意見の確認
  - (2) その他
- 5 その他

## 浜田市との共同研究について（案）

### 1. 議会フォーラム

テーマ 「議員と学生 選挙をめぐって真剣しゃべり場（案）」  
議員、学生（学生議員）が、同一場所で、選挙における資料を見ながら、  
日ごろの行政、政治、学生意識などをめぐって議論（意見の交換）を展開

時期 1 1 月（はまだ市民一日議会後） 平日もしくは土曜 2 時間程度

場所 全員協議会室

構成者 議員、学生、研究者、一般学生オーディエンス など

### 2. 議会講習

日時 1 2 月 2 0 日前後 平日もしくは土曜 9 0 分程度

場所 全員協議会室

講師 島根県立大学 総合政策学部 3 年次生 3 名

対象者 希望者（議員）

内容 PC、スマートフォンを通じた SNS（ツイッター、インスタグラム、動画  
など）の利用についてのメリット、デメリット、使用方法など、講義、実践

### 3. その他

○先進事例の調査 時期、場所などは調査中

○議員インターンシップ 予算の範囲で予定

|            | 7月22日委員会での議会報告会に対する各委員の意見                                                              | 手法 |       | その他 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------|----|-------|-----|
|            |                                                                                        | 対面 | オンライン |     |
| 肥後<br>委員   | 議会側が地域へ出向くことは良い部分・悪い部分あるが、しかるべきタイミングで取り組むことが重要。                                        |    |       |     |
| 村木<br>委員   | テーマを絞った意見交換は大切。何らかの形で議会報告会を実現すべき。                                                      |    |       |     |
| 大谷<br>委員   | コロナの状況を見極めながら実施したほうがよい。                                                                |    |       |     |
| 三浦<br>委員長  | 議会報告会のそもそもの目的の広報の部分について、議会の今をどう伝えるか検討していないといけない。                                       |    |       |     |
| 沖田<br>委員   | かつての議会報告会は参加者の偏りがあった。無理にかつての議会報告会に縛られることなく、柔軟な広聴活動が続けては。                               |    |       |     |
| 村武<br>副委員長 | コロナ禍で中断しているが、必要な取組。コロナの終息が見えないため、来年度に向けて計画を立てては。<br>オンラインでの開催と会場参加、両方のやり方があってもよい。      |    |       |     |
| 川上<br>委員   | よかった部分と悪かった部分、両方あった。テーマを絞って回数を増やすのがよいと考える。                                             |    |       |     |
| 小川<br>委員   | 全国的にオンラインで議会報告会に取り組む事例もあり、参加者の固定化を解消できる場合もある。今までの課題を整理しながら、手法を研究する必要がある。               |    |       |     |
| 上野<br>委員   | 旭からは議会報告会開催の要望が強いが、コロナ禍で諦めムードにもなってきている。地域協議会との意見交換会のことや読者アンケートの話をしているが、アンケート用紙は入っていない。 |    |       |     |
| 川神<br>委員   | 今までのやり方はそれなりに効果があった。コロナが緩和したときに取り組めるプランを持っておくべき。<br>テーマを絞り込むことは重要。                     |    |       |     |